

II-B-20 幻視発作について —自験15例の検討—

福島県立医科大学神経精神科

横山富士男, 高橋志雄, 管るみ子, 園部夏実, 萩原真理子
天沼幾緒, 若松留利子, 八島祐子, 熊代 永

幻視発作は, てんかん発作の国際分類によると, 精神発作, すなわち意識の減損を伴わない単純部分発作の中で精神症状を示すものの中に位置づけられている。一般に, 精神発作は, 発作そのものが患者自身の主観的な体験内容であり, 自覚発作といわれ, 必ずしも明確でないこともあり, 心因性疾患などとあやまる可能性も否定できない。今回, 我々は幻視発作の出現様式, 発展様式, 発作間歇時脳波所見および幻視の内容について検討した。

<対象> 当科および関連病院3施設に通院加療中の全てんかん患者1307例中, 発作性の体験内容に再現性があり, 精神発作と明確に診断し得た52例のうち, 幻視発作の15例を対象とした。その内訳は, 男子3例, 女子12例であった。年齢は7歳から67歳, 平均年齢27歳であった。平均罹病期間は10年であった。

<結果と考察> ①発作の出現様式は, 常に幻視発作のものが12例(80%)と最も多く, 幻視発作に他の精神発作の亜型を合併するものは3例(20%)であった。②発作の発展様式は, 速やかに全般性強直間代痙攣に発展するものが9例(60%)と最も多く, 次に自動症に移行するもの3例(20%)などであった。③発作間歇時脳波の焦点部位は, 左側頭部に焦点を認めるもの6例(40%), 左後頭部に焦点を認めるもの5例(33%), 左前頭部に焦点を認めるもの2例(13%), 両側後頭部に焦点を認めるもの, 正常脳波を示すもの, 各々1例であった。すなわち, 15例中13例が左半球に焦点性脳波異常が認められた。このことは, 幻視発作と左半球焦点性異常との関連性が示唆された。④左後頭部焦点と左側頭部焦点を有するものの中には, 幻視発作の内容に差異は認めなかった。

II-B-21 後頭部発作発射により 惹起される発作症状

東海大・医学部・臨床病理学教室

村瀬 寛

後頭部異常脳波と臨床症状(主訴・主症状・発作症状)の関係は多彩で興味深い。今回は自然に発現した後頭部焦点(又は優位)の発作発射時の臨床像が観察された10症例を検討し, 後頭葉性発作症状について考察する。

症例: 各症例の主症状(又は発作症状)と臨床診断は以下の通りである。症例I. 28Y, F., 5週間にわたり群発した左視野の閃輝性暗点を伴う右後頭痛(持続30~150秒), および発作頻度が頂点に達した時各発作間に出現した場面的幻視, ……視覚発作重積。II. 8Y, F., 大発作後数時間持続した左視野の閃光を伴う右後頭痛, ……BECOD。III. 11Y, F., 数週間にわたり頻回に出現した左右交代性片頭痛様発作(持続10数分~数時間), ……BECOD。IV. 83Y, F., 左共同注視発作(1~2分), ……多発性脳梗塞。V. 6Y, M., 目がかすむ, ・頭痛・嘔気→右共同注視・意識混濁→部分~半側~全身けいれん, ……後頭葉てんかん。VI. 70Y, M., 右部分~半側けいれん, 眼球眼瞼間代と共同注視ほか, ……左後頭葉梗塞。VII. 35Y, F., 霧視・複視と両側後頭痛, ……良性頭蓋内圧亢進症。VIII. 38Y, F., 右手の硬直と気持ちが良くなり体がフワ〜と浮く感じ, 時に意識消失や全身けいれん, ……後頭葉てんかん。IX. 11Y, M., 右半盲と弱視, ……後頭葉てんかん。X. 9Y, F., 右前頭痛, ……頭痛。

結果: 以上の症例より観察された後頭部焦点又は優位の発作発射により惹起された症状は以下のとおりである。

- 1) phosphene, 2) scotoma, 3) headache, 4) diplopia, amblyopia, 5) conjugate gaze, 6) opsoclonus, 7) macropsia, micropsia, metamorphopsia, 8) scenery visual hallucination, 9) nausea, vomiting, dizziness, 10) somatosensory sensation, 11) clouding of consciousness, 12) partial convulsion, 13) no symptom.